

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域資料保存伝承事業
事業主体 (連絡先)	下諏訪町
事業区分	③教育、文化の進行に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	965,669円 (うち支援金: 724,000円)

事業内容

下諏訪町立図書館では3月のインターネット公開に向けて、公開用の写真説明文の作成、参考文献の入力などに力を入れた。

- 1.写真の保存 458枚、説明文の作成 1500枚分。
- 2.館内ミニ写真展「諏訪湖」2/8～3/31
- 3.インターネット公開 3/7から
- 4.「みんなでつくる下諏訪町デジタルアルバム」講習会 3/7 参加者 10名

博物館ではデジタル化した写真を使って以下の事業を行った。

- 1.歴史写真展「下諏訪町のあゆみ」 7/27～8/18
- 2.教育普及事業
 - ・体験教室「諏訪湖の漁業」



【下諏訪町デジタルアルバム講習会】

【目標・ねらい】

- ①歴史的価値のある写真・動画を保存する。
- ②事業を通じて町民参加を図る。
- ③成果物を広く利用してもらう。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①3年間で町内の歴史的写真を1,966枚をデジタル保存し、8mmフィルム9本16mmフィルム4本をDVD化した。
- ②写真展を図書館・博物館で開催し、多くの来場者に見ていただいた。住民参加のワークショップにも参加いただいた。
- ③保存した写真のうち1500枚に説明文をつけインターネット公開し、閲覧・ダウンロードが可能になった。ユーザー登録をすると町民自身が手持ちの写真をアップロードできる。また、博物館の教育普及事業で活用された。

※自己評価【 B 】

【理由】

目標を上回る写真の保存ができた。保存した写真はインターネットを通じてだれでも利用できるものとなった。博物館・歴史民俗資料館・図書館での写真展で多くの町民に見てもらうことができた。写真を使っての教育活動が行えた。

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

3月にホームページが立ち上がり、ユーザー登録の実施が3月末だったため、報告書段階では住民参加が数的に現れてこないのが残念だが、野鳥写真の愛好家からの写真提供の申し出があるなどの動きがあり、これからホームページを広く宣伝し、住民の参画を促していく。特に学校教育の郷土学習にこのホームページを活用してもらうように働きかけていく。また、図書館においては資料保存ボランティアを立ち上げ、共同参画事業として継続していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある